

千葉県や茨城県を中心

心に古紙などの再生資

源卸売業や産業廃棄物

処理業を展開する齋藤

英次商店(千葉県柏市、

齋藤大介社長、☎04

・7186・670

1)は社会課題解決と

サーキュラーエコノミ

ー推進の新たな取り組

みとして、法人向け回

収サービス「リチウム

イオン電池(LiB)リ

サイクル回収」を昨年

11月から開始、さらに

今年2月から千葉市と

連携のうえ、家庭から

出るLiBの無料持ち込

た。

同社ではLiBの社会

課題に着目し、昨年夏

頃から独自のアンケー

ト調査等を通じた事業

化の検討を開始。さま

ざまな再生資源を回収

してきた経験と実績を

生かし、LiBの安全な

回収・再資源化のスキ

ームを構築し、今回の

サービス開始に至っ

た。事業者から産業廃

棄物として回収し、回

収したLiBはリサイク

ル事業者に販売し重要

鉱物の回収・再資源化

等を推進する。

また個人顧客からの

齋藤英次商店

LiB回収事業を開始

社会貢献の取組を推進

要望が多数寄せられたことから、千葉市と連携のうえ、家庭から出

るLiBの無料持ち込みを2月から開始した。現在、千葉市

内の同社2拠点で「カーボンニュートラル回収」となってい

回収を実施している。齋藤社長は「社会課

題を解決したいという思いから今回の取り組みを始めた。今後近隣自治体とも連携し、回収可能な拠点を拡大し設備の電

力の推進

や再エネ

の購入

の反応を見ながら改良

入、GH

を重ねサービスの向上

G排出量

を図っていく」と話している。

の算定な

どカーボ

ンニュー



LiBの社会課題に対応する